環境調査 浦ノ内湾25-35 令和7年8月22日 水産試験場

## 環境調査結果のお知らせ

令和7年8月22日9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

## 概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・パピリオナセアが最高で36 cells/mL、タカヤマ属が最高で340 cells/mL確認されました。

鳴無の2 m層から底層における溶存酸素量は $0.1\sim3.1$  mg/Lとなっており、湾奥部で2 m層まで貧酸素水塊が発生しています。今後、養殖漁場にも拡大するおそれがあります。また、すべての定点において表層から 2 m層水温が約 $30^{\circ}$ C以上となっていますので、十分注意してください。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	カレニア・ パピリオナセア	シャットネラ 属	タカヤマ 属	
	(m)							珪藻
A 鳴無 (2.5m) [09:43]	0	30.8	30.5	5.6	0	0	20	-
	2	30.1	30.9	3.1	0	0	100	_
	5	28.7	31.3	0.2	0	0	60	-
	底層 7.5	28.5	31.4	0.1	0	0	0	_
_	0	30.9	30.4	5.7	0	0	10	21,700
B 中学校前 (2.8m)	2	30.1	31.0	4.1	0	0	30	17,300
	5	29.0	31.3	2.1	0	0	50	250
[09:48]	10	28.3	31.5	0.9	0	0	20	40
[00110]	底層 11	28.3	31.5	0.4	1	0	0	20
	0	31.1	30.6	6.2	0	0	80	-
C	2	30.8	31.0	5.9	0	0	200	-
<b>目ノクソ</b> (3.2m)	5	29.3	31.4	3.8	0	0	50	-
(09:57)	10	29.0	31.6	3.4	0	0	0	-
[03.37]	底層 13.5	28.2	31.6	1.7	0	0	0	-
	0	31.1	30.6	6.1	1	0	40	14,100
D	2	30.6	31.0	6.3	15	0	100	8,800
光松 (3.8m)	5	29.3	31.5	3.7	10	0	100	320
(3.8m) [10:19]	10	29.1	31.8	3.9	0	0	0	120
[20,20]	底層 15.5	28.4	31.8	2.4	0	0	0	20
E	0	31.0	30.8	7.0	3	0	140	-
福良	2	30.5	30.8	7.1	4	0	100	-
(4m)	5	29.2	31.4	3.6	18	0	340	-
[10:12]	底層 8.5	28.8	31.7	1.1	0	0	60	-
	0	30.9	30.8	6.5	34	0	100	-
F 大鹿 (3.9m) 【10:26】	2	30.2	31.3	6.3	36	0	100	-
	5	29.5	31.5	4.7	25	0	20	-
	10	29.0	31.8	3.9	0	0	0	-
[10.20]	底層 15.5	28.5	31.9	1.8	0	0	0	-

環境調査 浦ノ内湾25-35 令和7年8月22日 水産試験場

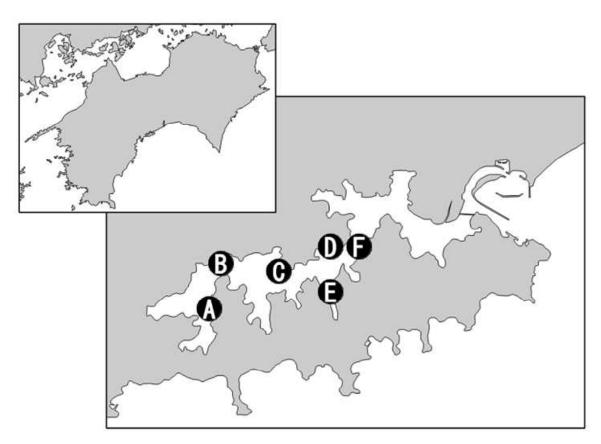
参考:有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準(※1)	警戒基準(※2)	主な赤潮発生時期 ※3	
付告ノブングトン	仮音	注息基华(※1)	言戒基準(※2)	浦ノ内湾	
タカヤマ属	魚類等のへい死	_	10,000 cells/mL	8~9月	

※1 注意基準:餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準:魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: 鳴無

B: 中学校前

C: 目ノクソ

D: 光松

E: 福良

F: 大鹿